



INARIYAMA
インターンシップPLUS

内定者

清水 優州 22歳

Masakuni SHIMIZU

令和2年入社予定

関東学園大学 / 経済学部経営学科

内定者

22歳 森平 健翔

Takeru MORIDAIRA

令和2年入社予定

明治学院大学 / 社会学部福祉学科



「研修で見た自分自身と
やりたいこと」清水

「失敗しないためには
インターンに参加すること」森平

実際に企業で採用されている研修を体験
このインターンで社会人に近づけた気がする

僕は経済学部経営学科なのでゲーム形式で経営を疑似体験するMG研修が大学で学んだことも活かせる面白いなと感じました。大学で学問として学ぶのとまた違い、実際の企業のなかで学ぶ研修はリアルな直ぐ側だということもあり、社会人としての活動と考え方を感じられた体験でした。

またEG研修で自己分析をして今まで気づかなかった自分を知ったり、新たな側面を発見できたりしたことが凄く自身にプラスになりました。選考に参加するだけでそれだけプラスになることが体験できたので、稲荷山なら仕事をしていて面白そうだなと思いついてこの会社に決めました。入社まではバイトで経理のお手伝いをやらせてもらっていますが、それはお金を管理する立場、入社したら営業としてお金を生み出す側で頑張りたいです。

企業の「経営という観点」からの理解を
深めて就活に役立ててみませんか？

MG 研修

ゲーム形式で自分が社長になって2日間で5年分の経営を体験する研修。競争の中で経営者の意思決定を疑似体験しながら、利益を出す難しさを学びます。ライバルに勝つために必死に経営を考えることによりビジネスマンとしての数字感覚、会社の成り立ちを理解することによりマネージメント（経営管理）能力が身につきます。ソフトバンク・アカデミーでは孫さんがMG研修100回の経験を推薦しています。

企業の風土は体感することが一番
社員とたくさん話をしてリアルな姿を見る

インターン初日に本社でロールプレイングをして、二日目に実際に先輩に同行してもらってお客さまを訪問し名刺交換を行いました。経験したことのないことに戸惑いながら断られたりしながら何十件も回りました。簡単なことだと思っていたのですが難しかったです。一度先輩がお手本として名刺交換に成功している姿を見せてくれたのですがやっぱり違いますね。相手の様子の伺い方とか表情、声のトーンとか。実務の一端に触れたことは貴重な体験でした。

インターンはその会社の風土を肌で体感できます。僕も参加して稲荷山の社員の方たちとたくさんお話することができ、ほんとうに面白い人たちだなと思ったので入社を決めました。最後は人で決めたいです。

客観的な診断結果から「自身の適性」
を理解して就活に活用してみませんか？

EG 研修

米国で開発され、インテル・マイクロソフト等世界的リーディング企業が採用する究極の性格診断と言われているEG（Emergenetics）診断を行うことにより、自分の個性を客観視し、理解を深めることでコミュニケーションスキルがアップし、就活を確実に一歩リードします。